



いぶき 第76号

発行者 吉野 公博

編集 患者サービス向上委員会

香川県丸亀市城東町3丁目3番1号

TEL (0877) 23-3111

FAX (0877) 24-1147

季刊誌 年4回発行

<http://www.kagawah.johas.go.jp>

第3回公開セミナーを開催しました

消化器内科部長 出口 章広

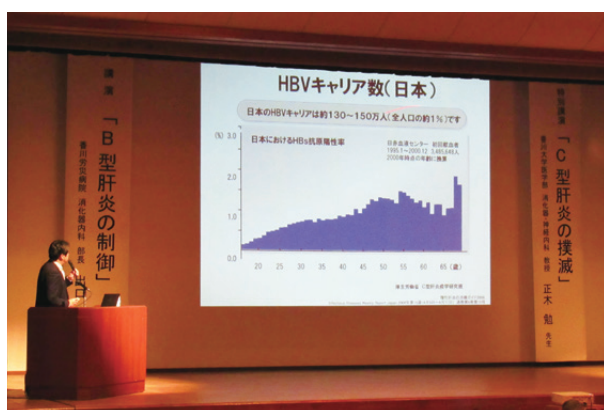


今回で3回目を迎える市民公開セミナーですが、前回と同様に丸亀市生涯学習センターで1月25日(土)に開催しました。第1回の市民公開セミナーではニュースキャスターの河野憲治氏をお招きし、第2回は落語家の桂文喬師匠をお迎えし、大変好評で沢山の方にお越しいただきました。今回は香川大学医学部消化器神経内科教授の正木勉先生をお招きしました。先生は肝臓病学が専門で慢性肝炎、肝臓癌などの肝臓病治療の権威であらせられます。今回は大きなテーマとしてウイルス肝炎を取り上げさせていただきます。肝炎ウイルスによるウイルス肝炎は国内最大の感染症であ

り、これまで多くの方の命を奪ってきた恐ろしい疾患であります。そのうちC型肝炎は発見から約30年が経過した今日撲滅されようとしています。正木教授よりC型肝炎の病態から最新の治療法に関してご講演いただきました。また正木教授のご講演に先立ちまして、私の方からC型肝炎と並んで非常に恐ろしい感染症であるB型肝炎のお話をさせていただきます。その講演内容の一部をここでご紹介させていただきます。

B型肝炎は東京オリンピックの年にウイルスがピククの年にウイルスが同定され、日本国内には130〜150万人の感染者がいると推定されています。DNAウイルスであり、その配列によって様々な genotype がありますが、日本ではB型およびC型が大部分を占めます。感染時期によって大きく病態がことなり、慢性肝炎や肝臓癌を発症するのは乳幼児期

に感染してキャリアとなった方がほとんどです。キャリアの方には20歳前後で肝炎を発症し、90%の方は無症候性キャリアとなり、非感染者と全く変わらない予後をおくることができません。残りの10%の方ではウイルスの活動が持続し、慢性肝炎から肝硬変、肝細胞癌へと至ります。現在のところ、このB型肝炎を消す薬はなく、インターフェロン注射や核酸アナログ製剤を服用してウイルスの活動を抑え、病状が進行しないようにするという治療が主になります。これらの治療は長期間にわたって行う必要



があるために、現在は医療費の助成が受けられるようになっていきます。

無症候性キャリアの方で問題となるのは再活性化であります。これは抗がん剤や免疫抑制剤などの免疫力を低下させる薬剤を投与された後にウイルスの再増殖が起こって、急性肝炎や時に劇症肝炎を発症するものです。再活性化が起こってしまふと致命的な事態になりかねませんので、抗がん剤や免疫抑制剤を投与する前に、B型肝炎ウイルスに感染していないかどうかを調べておく必要があります。血液中にB型肝炎ウイルスが検出された場合には再活性化が起こる可能性が高いので、核酸アナログ製剤を服用していただくことになります。

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

C型肝炎ウイルスはソウルオリンピックの頃に発見され、日本国内には200万人近い感染者がいると推定されています。主に血液を介して感染し、ウイルスが体内に入ると70%の方は慢性肝炎を発症します。しかし症状はまったくないので、患者さんも気づきません。そして徐々に進行し20

上の方がウイルス消失を達成できるようになっていきます。これらの治療の治療期間は短いですが、薬剤費が高額なため、こちらも医療費助成が受けられるようになっていきます。

今回のセミナーは以上のような内容でした。B型肝炎とC型肝炎はウイルスの遺伝子や病態が大きく異なる疾患ですが、共通する点としては、進行して肝硬変や肝細胞癌を発症しないと症状が全くありません。患者さんもお家族も知らない間に感染し、密かに進行し、生命を脅かす事態になってしまっていることがよくあります。これらの疾患を早期に見出すためにはウイルス肝炎検査を受けていただく必要があります。これは血液検査をするもので、県内の保健所や指定医療機関で無料でうけることができます。また当院ではオープンホスピタルを毎年9月ないし10月に開催しておりますが、そこでも無料で肝炎検査を実施しておりますので、まだウイルス肝炎検査を受けたことがない方はぜひご来場ください。今後

も香川労災病院は中讃地区

も香川労災病院は中讃地区

の基幹病院として皆様の健康や明るい未来のために頑張っていますのでよろしく願います。

張つていきますのでよろしく願います。

第79回 市民公開健康講座 「教えて！がん診療連携拠点病院」

副院長 國土 泰孝



香川県立中央病院、高松赤十字病院（令和2年度より三豊総合病院が復帰）が指定されています。

がん診療連携拠点病院では我が国に多い5大がん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がん）やその他のがんについて、手術、放射線治療及び薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療及び緩和ケアを提供しています。がん診療連携拠点病院の主な条件は、年間の院内がん登録500件以上、悪性腫瘍の手術件数400件以上、がんに関わる薬物療法1,000人以上、

最近ではロボット手術の導入や入院前支援を開始し、がんの入院、治療にともなう心配を少しでも和らげるようにしております。

最近ではロボット手術の導入や入院前支援を開始し、がんの入院、治療にともなう心配を少しでも和らげるようにしております。

部署紹介「中央検査部」

中央検査部長 高水 竜一

みなさん、当院の「中央検査部」ってご存じですか？

私たち中央検査部は「臨

床検査」を担っている部門で、臨床検査のための国家資格である臨床検査技師28

名により構成されています。患者さまの目に触れることが多くないため、ご存じでない方もおられるかもしれませんので少しご紹介させていただきます。と思っています。

当検査部は、医師が患者さまの診断や治療を行うために必要な臨床検査データを24時間体制で提供しています。臨床検査は、血液や尿、組織などを調べる「検体検査」と、患者さまの身体を直接調べる「生理機能検査」に大別されます。検体検査はさらに、診察や検診等で最も一般的に行われる生化学免疫検査や血液算定検査、止血機能を知るための凝固線溶検査、安全確実な輸血療法のための輸血検査、病原体の有無や種類、また感染症に対する効果的なお薬を調べるための微生物検査、採取した組織や細胞を顕微鏡で診断する病理検査など目的別に多岐にわたり、その数は数千項目にも及びます。

最近「遺伝子検査」という言葉をメディア等でも耳にしますが、これも臨床検査の一分野で最近のトピックスといえるでしょう。一方、生理機能検査は「心電

図検査」「超音波検査」「呼吸機能検査」などで、こちらはいくぶん耳なじみがあるかもしれません。

臨床検査は近年急速に自動化が進みましたが、超音波検査や顕微鏡での検査、装置でうまく検査できない場合などは、臨床検査技師の豊富な経験と熟練したテクニック、専門的な知識が必要となります。当院は、最新の自動分析装置とエキ

肝臓病教室

私たち肝臓病教室チームは平成26年9月から肝臓病教室を立ち上げ、医師をは



スパートの証である認定資格保有者を多数擁し、質の高い検査データを迅速に提供する体制が整っています。

これからも当院の基本理念である「勤労者と地域の皆様への安全安心な医療の提供」のため、また高度化する医療を支えるために、さらに価値ある臨床検査部門を目指し続けたいと考えています。

薬剤部 都村 勇樹

じめとしたスタッフが講師としてお話させていただきました。約3か月ごとに肝臓病教室を開催し22回を数えました。

テーマとして脂肪肝、肝硬変、C型肝炎治療薬、肝臓がんの最新治療などについてお話させていただきました。ずっと講師の話を聞いているだけではなく内容についてのクイズやリハビリの先生による自宅でもできるストレッチやトレーニングの実演、終わりにには医師に直接相談できる時間もっております。

病院機能評価の認定を受けました

この度、2019年11月に受審した病院機能評価(3rdG:Ver2.0)について、審査の結果、5度目となる病院機能評価の認定を受けましたので、ご報告いたします。



病院機能評価とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施している、医療の質と安全の向上を目的として、中立的立場から一定の基準に基づいて医療施設を評価する取り組みです。現在、全国の約3割の病院が病院機能評価を受けています。



肝臓は人体の中でも特に大きな臓器であり様々な役割を担っていますが、頑張り屋で壊れる一歩手前まで悲鳴を上げません。それゆえ沈黙の臓器ともいわれています。そんな肝臓について少しでも知っていただきご自身にできることを学んでいただければと思っています。

また肝臓疾患は治療が始まったとしても長い期間自分の症状と向き合っていく必要があります。そのためには家族の協力が必要不可欠になってきますので肝臓病教室へはぜひご家族とともに参加していただければと思います。次回肝臓病教室は6月の予定で準備しております。参加していただいた方にはアンケートを実施していきます。聞きたいテーマなど率直なご意見をぜひお聞かせください。

連載②

「演奏家として」

ピアニスト 田村 真穂



田村真穂さんは丸亀市出身で、パリ・エコールノルマル音楽院を修了された後、オルデンブルグ州立歌劇場でヨーロッパデビュー。天性の豊かな音楽性で聴衆を魅了し、現在も国内外で幅広く活躍されています。

25年前、たまたま訪れていた兵庫県西宮市で阪神淡路大震災に遭遇し、私は左右から倒れてきたタンスの間に寝ていて九死に一生を得ました。当たり前と思われる日常は一瞬のうちになくなることを目の当たりにし、私は何のために生かされているのだろう、私のできることはなんだろうと考えました。一度失った命と思えば何だつてできるはず、毎日を精一杯に生きていく。その時、覚悟ができたように思います。

ピアノを本気で勉強したいと思っていた私を応援してくれた人がいました。「オペラの仕事してみるか？」指揮者の佐渡裕さんが声を掛けてくれたのです。私はコレペティトウア(オペラの稽古ピアニスト)として明日



佐渡裕氏と

から働くことになりました。右も左も分からない舞台の世界。稽古場に一番早く来るのは演出助手や大道具さんたち。私は彼らよりも早く行くことにしました。掃除をし、稽古までの準備を手伝い、しなくていいことをして怒鳴られたりしながら、稽古はまさに乾坤一擲、心臓がひっくり返りそうになりました。ながら第一線の歌い手に合わせてピアノを弾く、そんな毎日から、華やかな舞台を作る裏方には想像以上の厳しさと大きな喜びがあることを教わりました。

総合芸術といわれるオペラの世界で、小澤征爾さんや、バレンボイム、ジェシー・ノーマン、パバロッティ、M・ベジャールら一流の音楽家や舞踊家、演出家、制作、美術、衣装、照明、字幕、舞台監督に出会い、共に舞台を作る仕事をさせて頂けたことは私にとって余りあ

るほどの得難い経験です。

ボローニャ歌劇場日本公演のツアー中、ホールのピアノ格納庫を無理を言って特別に開けてもらい、必死にソロの練習をしていた時のことでした。そうと後ろのドアが開いて「ハロー」と小さな声。振り返るとそこにいたのは、ホセ・カレラス氏でした。「邪魔して悪いけど稽古したいから伴奏してくれる？」というのです。その狭いピアノ庫で「フェドラー」の第二幕のソプラノとの掛け合いのシーンを合わせた時、あまりの声の大きさと美しさと響きに圧倒され、弾き続けるのがとても難しかったことを憶えています。あの響きをピアノで作れたらなあ。これは、今も私の研究課題となっています。

一流の人たちの側で学ぶうち気づきました。彼らは共通して、普通考えられないほどのたくさんの情熱、たくさんの勇氣、たくさんの愛情、たくさんの忍耐力を持ち、自らの仕事をとて



ウィーン・フォルクスオーバーのスタッフと



メラニー・ホリディと

も楽しんでいて、キラキラと輝いていながら謙虚で、己の芸術を深めることに人生を懸けている。ああ、とてもかなわない、少しでも近づきたい、もっともっと勉強したい。

願いは通じ、晴れて国際親善大使として奨学金を頂きパリで勉強できることになりました。不安と期待に胸が高鳴ります。さあ、いよいよ出発！私は、奨学金を倅約するべく、財団から頂いた直行便の素晴らしき航空券を、乗継便で倍以上の時間を要する激安チケットに変更。何といっても初めての海外への旅です。結果は案の定。事件は起こりました。そこは乗り換えの地、バンコクの空港。「えっ！ない！チケットがない。」…茫然自失。命綱の激安チケットを紛失するという痛恨のミスを犯し、出発したばかりなのにもう終わった気分。こうなったらパリまで泳いで行くしかない？

(連載③へ続く)

丸亀! 走る! 仲間!

事務局長 澤尻 賢一

日本一の高速コースで知られる香川丸亀国際ハーフマラソン、日本でもトップクラスのランナーが参加するレースですが、大会の主役は何もトップアスリートばかりではありません。我が労災病院からも20数名の職員が、労災病院チームのユニフォームを身につけて参加しました。香川労災ランニングチームのユニフォームは外科の村岡部長がデザインしたもので、丸亀にちなんだ絵柄がたくさん散りばめられていますがお分かりになりますか。ユニフォームが完成し、瀬戸内海タートルマラソンやまんのう公園リレーマラソンでもこのユニフォームが躍動しました。

皆さん、KAGAWA ROSAI RUNNING TEAMのユニフォームをマラソン大会で見かけましたら、応援よろしくをお願いします。



皮膚科の専門医として地域のみなさまのお役に立つことができるよう尽力いたします。よろしくお願いたします。

皮膚科の高橋正幸と申します。令和2年4月1日付で着任いたしました。香川県三豊市出身です。前任地は広島県の呉共済病院、それ以前には岡山大学病院などで勤務いたしました。



皮膚科部長
たかはし まさゆき
高橋 正幸

新任医師紹介



第三整形外科部長
もりたに しろう
森谷 史朗

お久しぶりです! 4月に着任しました整形外科の森谷史朗と申します。平成12年に岡山大学整形外科に入局後から関連病院で研修し、当院には平成17年〜23年までの6年間勤務しておりました。その後岡山済生会総合病院へ異動し、平成25年に日本手外科学会認定専門医を取得してからは、おもに手・肘関節外科およびマイクロサージャリーを専門に従事してまいりました。救急棟の増設など医療環境・設備も益々充実した香川労災病院に9年ぶりに復帰する機会をいただきました。運動器の外傷や慢性疾患に対して、保存療法と手術療法の適切な適応を見極めて治療をさせていただきま

この度、6年ぶりに香川労災病院でお世話になることになりました。病理診断科の守都です。これまで、当院はじめ岡山、広島、山口、愛媛と、中四国の瀬戸内海沿岸5県すべての病院で勤めてきましたが、香川県、とりわけ中讃地方は生活するにも非常に便利で、かといって田舎過ぎることもなく、大変住みやすい所だと感じています。県民にとっては当たり前の讃岐うどんも、まったく同じ味には近隣といえど、県外では出会えませんでした。香川に戻ってこれたことを大変嬉しく思いま



第二病理診断科部長
もりと としあき
守都 敏晃

かしながら四十肩や腰痛を発症してしまい、もっぱらスポーツ観戦が趣味となっています。一日でも早く当院のチーム医療と中讃の地域医療に貢献できるよう努めてまいりますので宜しくお願いいたします。

すし、これまで知らなかった店やスポットを開拓していくことを家族ともども楽しみにしております。

私が所属している病理診断科は、がんをはじめとする疾患を細胞レベルで、顕微鏡で診断を行っております。検査科の一角にあり、普段患者さんに直接お目にかかることはありませんが、患者さんの治療に役立つ診断を行うべく、精いっぱい努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



内科医師
なかたに かの
中谷 夏帆

はじめまして、中谷夏帆と申します。労災病院で働く前は、香川大学に勤務しておりました。高松市出身で、丸亀市にはあまり訪れる機会がなく、美味しいご飯やさんや、買い物をするお店など、新しく発掘できたらと楽しみにしております。高松から通勤するようになりませんが、桜の季節には丸亀城を訪れたいなあ

どと考えています。

休日は家でゆっくりと過ごすことが多く、朝はパン屋さんのパンを食べたり、お昼は讃岐人らしくおうどんを食べたりしています。休日の夕食は、家で作って食べるように心がけています。料理は簡単なものを作りますが、あまり得意ではありませんが、何か得意料理を見つけないかと奮闘しております。オススメなどあります。ご教授お願い致します。

まだまだ未熟者ですが、何卒よろしくお願い致します。



外科医師
やす い ゆういち
安井 雄一

令和2年4月から着任しました、外科の安井雄一と申します。平成26年に富山大学を卒業後、岡山大学病院で一年半、福山医療センターで四年半勤務し、この度香川労災病院で勤務させて頂くことになりました。福山医療センターでは、外科の中でも特に消化管の

手術に多く関わりながら勉強をさせて頂いております。当院におきましても、多くの手術に関わりながら自己研鑽に努め、地域の医療に貢献できればと考えております。

何かと至らない点もあるかと存じますが、精一杯頑張っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科医師
き そ ようへい
木曾 洋平

令和2年4月より赴任して参りました整形外科の木曾洋平と申します。広島県出身で、平成22年に岩手医科大学を卒業し、岡山労災病院、尾道市立市民病院などで勤務を行い、平成28年から岡山大学大学院に入学し、本年度から当院に着任となりました。主に一般外傷を中心に、大学院では関節リウマチに関する研究など行い研鑽を積んで参りました。まだまだ勉強中の身ですが、今後

は一般外傷をはじめ関節リウマチの治療にも取り組んでいき、少しでも地域の皆様のお力になれるように頑張っていきたいと考えております。

趣味はゴルフとカープの応援です。ゴルフを含めスポーツは観戦も行うのも好きなので、落ち着いたら色々挑戦していきたいです。至らぬ点多々あると思いますが、精一杯頑張っておりますので、宜しくお願い致します。



整形外科医師
たむら まさのり
田村 優典

皆様初めまして。今年度より勤務させて頂いた下さいます、整形外科 田村優典と申します。医師6年目の後期研修医で岡山大学整形外科医局に所属しております。新専門医制度の研修プログラムで、この度当院に赴任させて頂いたく運びとなりました。香川県高松市出身で、高松高校・岡山大学を卒業後、

初期研修は東京医療センターで行いました。後期研修から岡山に帰り、これまで岡山赤十字病院を中心に、岡山大学病院・笠岡第一病院・かがわ総合リハビリテーション病院で勤務し、各施設で幅広い整形外科診療を経験しました。

今回、生まれ育った香川で医師として働けることを嬉しく思っています。趣味はフットサルで、整形外科のサッカー部にも所属しております。

まだまだ医師としても整形外科医としても未熟者ではありますが、患者様やコメディカルの方々に信頼される医師を目指し精一杯努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。





泌尿器科医師
あんどう のぶよし
安藤 展芳

令和2年4月より赴任しました泌尿器科の安藤展芳と申します。地元は観音寺市で、平成26年に岐阜大学を卒業し、三豊総合病院での初期研修、岡山大学病院、高知医療センターを経て、4年ぶりに香川県に戻ってくることとなりました。

休日は運動不足解消も兼ねて散歩(Pokémon Go)をすることが多いです。仕事柄なかなか時間が取れないですが、ドライブや旅行などの遠出も好きです。あまり出来てはいませんが、先日ダイビングのライセンスを取得したので、ダイビングも趣味にできればと考えております。

泌尿器科は癌や感染症など直接命にかかわる疾患もありますが、夜間排尿などのQOL(生活の質)を低下させる疾患も扱っております。些細なことでも結構ですので、是非とも御相談いただけますと幸いです。

至らぬ点があるとは思いますが頑張らせていただきますので、御指導・御鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。



麻酔科医師
たに みさと
谷 美里

令和2年4月より麻酔科に赴任いたしました、谷美里と申します。昨年度まで高知県の近森病院で勤務しておりました。出身は香川県で、香川大学卒業後、初期研修まで香川で過ごしました。岡山県、高知県への転勤を経て3年ぶりの香川県での勤務になります。地元で仕事ができるのをとても嬉しく思います。

趣味というほどではありませんが、昨年1回海外旅行に行くようになりました。昨年度は念願だった南米のマチュピチュとウユニ塩湖に行くことができ、絶景を堪能してきました。

まだまだ行ったことのない地が多いので、おすすめの

の旅行先など教えていただけると嬉しいです。至らぬ点も多いかと思いますが、周術期管理を通して信頼していただける麻酔科医になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



内科医師
かわし ひろみち
川地 紘通

令和2年4月より赴任しました内科の川地紘通と申します。出身は香川県ですが、中讃地域に住むのは今が初めてです。

趣味はお酒で特に白ワインを好んで飲みます。ただ、飲みすぎてしまうため、休みの日は外が明るい内からは飲まないように努めています。

また、スポーツジムで体を動かすことも大好きですが、最近ではCOVID-19の影響でやや自粛しております。いつか丸亀ハーフを完走するのが大きな目標です。

至らない点多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。



内科医師
うるしはら くろみ
漆原久留未

令和2年4月より内科医として着任いたしました漆原久留未と申します。香川大学医学部附属病院で初期臨床研修を行った後、昨年度1年間は同院の内分泌代謝内科で勤務しておりました。労災病院では糖尿病・内分泌疾患に限らず、幅広い症例を通じて内科医として精進して参りたいと思います。

私の生まれは香川県高松市で、うどん屋を営んでいた祖父の影響もあり幼い頃からうどんが好物です。学生時代には高松や三木町を中心にうどん巡りをしていました。西讃には名店が多いと聞きますが、これまで訪れる機会があまりありませんでしたので、こちらに転動してからは、週末のうどん食べ歩きを秘かに楽しみにしています。

医師として至らぬことも多々あるかと思いますが、精一杯頑張つて参ります。

で、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。



外科医師
ふじわら じゅんいち
藤原 潤一

令和2年度から香川労災病院へ赴任して参りました消化器外科4年目の藤原潤一と申します。

出身は東かがわ市(旧白鳥町)で、生まれから大学卒業に至るまでずっと香川在住です。しかし、高松市よりも西に来たのは今年が初めてであり土地勘がありません。インドア体質で休日は家に引きこもっていることが多いですが、どこか食事・飲み会などに連れ出していただければと思います。この機会に西讃で食べられるおいしいうどんを巡ってみたいなど企んでおります。

仕事に関してはまだまだ周囲の先生方、コメディカルの方々のお手を煩わせることも多々あると思いますが、ご指導していただけると幸いです。愛想がないと

よくいわれますが、穏やかな性格だと自負しておりますので、気軽に声をかけていただければと思います。よろしく願います。



臨床研修医
つぐら かほり
都倉加保里

願っています。少しでも早く皆様のお役に立てるよう頑張ります。

私は生まれてから高校時代までずっと香川県で過ごしましたが、丸亀を訪れたことはあまりなく、分からないことのほうが多いです。まずは近くのうどん屋めぐり、行きつけのお店をつくりたいと思っています。

はじめまして。初期研修医1年目の都倉加保里と申します。出身は香川県さぬき市です。岡山大学で6年間を過ごし、この度香川県に帰ってきました。

趣味は映画鑑賞と体を動かすことです。大学時代はソフトテニスをしていましたが、今後は新しいスポーツに挑戦したいと思っています。ですので、機会があればお誘いいただけると嬉しいです。まだまだ未熟者ではございますが、香川県の医療に貢献できるように精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



臨床研修医
たぐち よしのり
田口 佳典

初めまして！ 4月からお世話になります東京出身、熊本大学卒業の田口佳典と申します。

私は、丸亀の地には縁もゆかりもなかったのですが、土地柄や見学時の病院の雰囲気の良いさに魅かれて、この度就職と相成りました。医師、社会人の一年目として、まだまだ分からないことだらけではありますが、少しでも患者様のお力になれるよう、これから精一杯努力していこうと思っています。

趣味は、カレーやラーメンの食べ歩きや温泉巡り、音楽鑑賞に楽器の演奏と幅広く、大学時代は全国各地を巡って食べ歩きや温泉巡りをしたり、好きが高じて近くのラーメン店やカレー店でアルバイトをして、食べるだけでなく、作る側のスキルも身につけておりました。香川はうどんの名産地ということで、休みの日

のお店巡りが今から楽しみです。オススメのお店があれば是非とも教えてくださーい！ こんな私であります。どうぞよろしくお願いいたします。



臨床研修医
なが た まさし
永田 雅士

はじめまして。令和2年

4月より香川労災病院で初期研修医として勤務させていただきます。久留米大学出身の永田雅士と申します。風光美しい瀬戸内に囲まれた温暖な香川で研修生活を始めることを、とても嬉しく思っております。丸亀市に住むのは初めてですが、研修を終える頃には思わず讃岐弁が出てくるような、地域の皆様に寄り添った研修生活を送れたらと思っています。

趣味はスポーツ観戦で、スポーツをするのも好きです。研修医として技術と知識の研鑽に全力で励み、時には運動で汗を流して体力の維持にも留意していこう

と思っております。新たな環境に、まだ右も左も分かんない戸惑うことも多いかと思いますが、焦らず着実に進んで行き、少しでも丸亀の方々に貢献できるよう、日々精進して参ります。今後とも御指導、御鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

編集だより

西3病棟棟長

森 美津子

春のそよ風も心地よい季節となりました。新型コロナウイルスの流行に様々な行事を躊躇された方も多かったと存じます。春！花々の開花する姿を見ると、何かにチャレンジしたくなりますね。これからも労災病院が、地域の皆様にとって新たな出会いや喜びを感じられる場所になれることを期待しています。



四季の植物

菜の花

アブラナ科アブラナ属

東4病棟看護師・高橋希巳江

菜の花の「菜」は食用を意味し、菜の花とは食用の花という意味です。古くから野菜として、また油を採るために栽培されてきました。黄・オレンジ・白・紫の花色があり、花言葉は「快活・明るさ」、2月6日の誕生花です。

